

第三十回本郷ふじやま公園古民家歴史部会歴史探訪(川崎宿3の3 総持寺・東福寺・生麦事件碑)

平成20年6月5日(木) (集合;京急線「JR鶴見駅」西口改札口10時厳守)

行程;鶴見駅→総持寺→東福寺→魚河岸通り→蛇も蚊も・道念稲荷社・神明社→生麦事件現場→生麦

事件記念碑→麒麟横浜ビバレッジ見学試飲→生麦事件資料館→京急生麦駅。

1・総持寺(曹洞宗大本山・諸嶽山・本尊、釈迦牟尼世尊・境内15万坪・墓地、約5000基・鶴見事故慰霊碑、昭和

38年11月9日鶴見―新子安間列車事故死者161人、重軽傷120人・桜木観音、昭和26年4月24日桜木町で発生国電火災事故106犠牲者供養・後醍醐天皇御霊塔昭和12年天皇6百縁記念)

福井県永平寺と並ぶ曹洞宗大本山は境内15万坪、50ha、山門勅願道場の象徴である勅使門、仏殿日本一の大きさを、誇る放光堂や僧堂など大小50余棟の伽藍、全国1万5千余の末寺を持つ大本山としての偉容を誇っている。1906年(明治39)現石川県鳳至(フケシ)郡門前町にあったが、1898年(明治31)4月13日の大火で消失したので、鶴見に移転した。縁起によると、行基が建てた諸嶽寺を、元亨元年(ゲンコウ・1321)にその寺主定賢が瑩山紹瑾(ケイザンゾウキン)に譲り、改宗して今の寺号に改めたのが始まりと言う。瑩山は後醍醐天皇の意にかない、翌年「日域無双の禅苑、曹洞出世の道場」と言う綸旨(リンジ)を受け、勅願寺となった。第2世の峨山紹碩(ショウセキ)も寺門の興隆に務めた。1615年(元和元)家康により永平寺と同格の本山に列せられ、加賀藩主前田家から寺領を受け大いに発展した。

(1) 文化財

中世末期唐近世にかけての宗内文書をはじめ多数、画家の提婆達多(ダイバダツ・釈尊従弟・国宝)、前田利家夫人像(国重文)、紹碩和尚像(国重文)書跡の紹碩筆観音堂縁起(国重文)等有名。

(2) 境内主建造物(非常に多い)

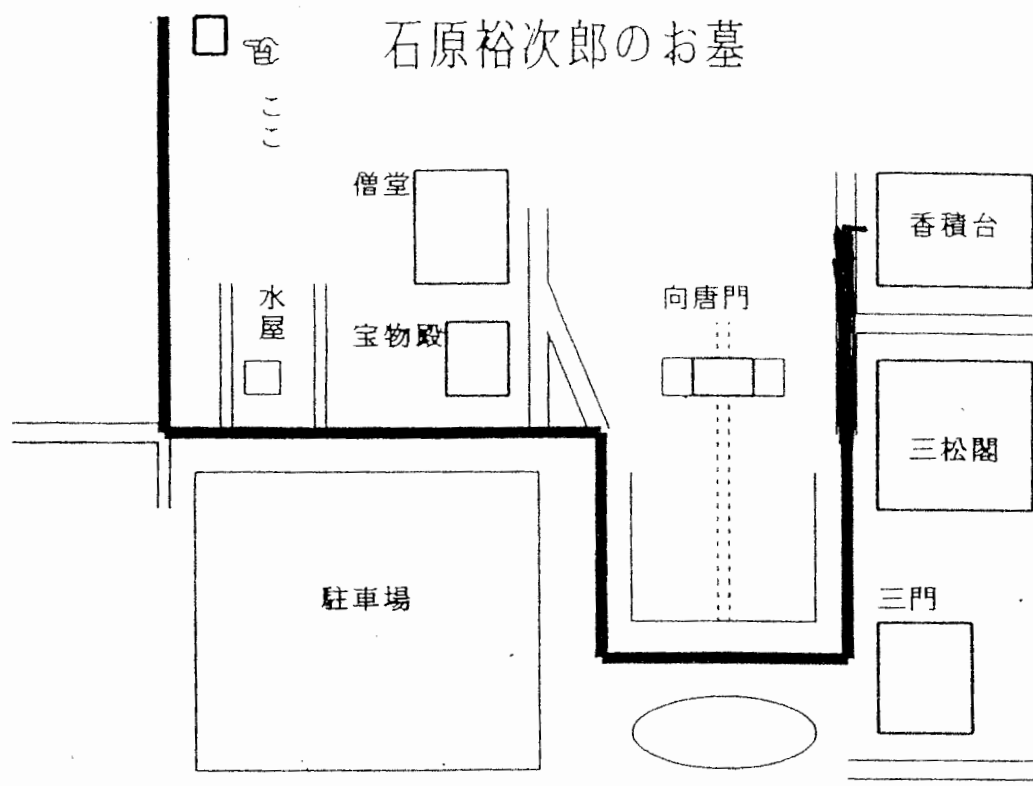
三松閣(サンショウカン・本山最初開門大正9年)・山門(鉄筋日本1昭和40年木原宗雲氏寄進)・三松閣(平成2年檀信徒道場)・大講堂・香積台(コウシヤクダイ・大正9年総檜、切妻様式、平成11年解体修理)・向唐門(ムカエカモン・総檜唐破風打造、桃山式)・百間廊下(管理、教育部門)・仏殿(別名大雄宝殿、七道伽藍の中

世界に開く禅の苑 大本山總持寺 案内図



- ② 常照殿
- ③ 伝光閣
- ④ 鐘鼓樓
- ⑤ 衆寮
- ⑥ 大僧堂
- ⑦ 宝物殿
- ⑧ 宝篋印塔
- ⑨ 玉兔門
- ⑩ 中雀門
- ⑪ 金鐘門
- ⑫ 百間廊下
- ⑬ 向唐門
- ⑭ 放光觀音
- ⑮ 鶴見事故慰靈碑
- ⑯ 大駐車場
- ⑰ 梅樹庵
- ⑱ 水子地藏
- ⑲ 松木觀音
- ⑳ 穴熊稻荷
- ㉑ 大梵鐘
- ㉒ 三宝殿

- ① 三松閣
- ② 山門
- ③ 三松閣
- ④ 香積台(總受付)
- ⑤ 人權擁護推進室
- ⑥ 天真閣
- ⑦ 白字館
- ⑧ 出版部
- ⑨ 東部役寮棟
- ⑩ 待風館
- ⑪ 祥雲閣(布教部)
- ⑫ 紫雲台
- ⑬ 汲古室(副貫首寮)
- ⑭ 四安樂
- ⑮ 倚松庵
- ⑯ 侍局(跳龍室)
- ⑰ 大祖堂
- ⑱ 御靈殿
- ⑲ 仏殿
- ㉑ 虎嘯窟
- ㉒ 放光堂



心お釈迦様、迦葉尊者＝カヨツジヤ、阿難尊者＝アナンジヤを祀る）・大僧堂（座禅道）・衆寮（修行僧学問所、一般参禅者）・伝光閣（修行僧教育居室、勉強部屋）・鐘鼓楼（ショウクロウ・鐘や太鼓鳴らし物、時を告げる合図など）・放光堂（檀信徒位牌安置）・常照殿・虎嘯窟（一般控室）・大祖堂（偉大な祖師方を祀る）・瑞応殿・侍局（跳龍室・禅師様お住まい）・倚松庵（キョウアン・茶室市指定文化財）・紫雲台（檀信徒との相見場）・祥雲閣（石川県から移転した建物・布教部講堂）・東司（トウシ・烏菟沙摩明王を祀る＝ウスサマ・全てを清浄とする徳を有す）・浴司（跋陀婆羅菩薩＝ハツダハラハサツを祀る・水に機縁して悟りを開いた）・東部役寮棟（管理部門）・白字館（大浴場・台所）・天真閣（テンシンカク・団体行事・研修・客接待・営繕）・待鳳館（徳川家書院移転）・大黒尊天（木堂日本一）等参考。

総持寺に眠る人々；浅野總一郎（1848～1930）実業家越中富山県生まれ洪沢栄一に見出され、日本セメント業先駆者、埋立事業等各種事業で財閥を築く・芦田均（ヒロシ・政治家・京都出身・東大・元民主党総裁・1887～1959）・前田青邨（セイウン・画家・岐阜生・東芸大教授・文化勲章・1885～1977）・長谷川時雨（シグレ・劇作家・東京生・1879～1941）・前田山（元横綱）・川上貞奴（サダヅナ・1871～1946）川上音二郎の妻、欧米を巡業した最初の女優、帝国女優養成所、川上児童劇団創設・石原裕次郎（1934～1987）神戸生まれ、兄石原慎太郎の小説「太陽の季節」映画でデビューし、戦後を代表する俳優。

2・東福寺（真言宗智山派・子生山、コイケサン・本尊、如意輪観世音・子育て観音）

寛治元年（1087）三宝院勝覚の開創。州の豪族稲毛三郎重成が泰信し植本院と称したが、後、堀河帝（堀河天皇平安後期1079～1107）が聖願して鳥羽帝（天皇、堀河帝一子）を得られてから長治元年（1104）勅願によって子生山東福寺と号した。子求めの祈願時として栄えた。当寺はこの一帯に広い寺領を有していた。芭蕉（俳人1644～1694）や飯田九一の句碑。

八幡神社「祭神、応神天皇・享和3年（1803）村明細帳に八幡宮余地4畝（セ・1／10反・30歩）6歩とある」

3・慶岸寺（浄土宗・入蔵山・本尊、阿弥陀如来・子育て地藏尊有名）

創建、天正9（1581）同年開山、天正昭誉究竟慶岸大和尚。

4・魚河岸通り（生麦は江戸時代幕府に魚を献上する御菜8ヶ村の1つ・朝市，水日曜休）

かつて魚師町だった生麦には今も朝市があり，約400mの通りには80軒ほどの店がある。活気のある朝8時前後で11時には店じまい。

5・蛇も蚊も祭・道念稻荷社（祭神，稻倉魂命，天照大神，豊受大神）

6・生麦神明社（祭神，天照大神）・雨乞祈願行事

約300年前，部落に疫病が流行したが無医村時代にため部落民は大変困り氏神様「すさのうの尊」にちなみ，大蛇によってこの疫病を退治させようと考えた。「葦（ヨシ）」が繁盛していたので，この葦で長さ8間，胴回り2尺の大蛇を作り，部落内を練り歩き疫病退散を祈り，最後にこの大蛇を海に流した。この行事は今日も生麦4丁目の本宮の道念稻荷社と生麦3丁目，原の神明社で行われている。（6月第1日曜日実施）

7・正泉寺（真言宗・南海山・本尊，薬師如来）・水神宮（祭神，速津彦命，速秋津姫命・元，正泉寺境内，震災で大破現地）

創建，寛永元（1624）・開山，全浄・宝永年中（1704～1711）寛宣が中興。

8・生麦事件現場・生麦事件碑（市登録文化財）・生麦事件参考館（私設・入場無料電話045-503-3710要予約）

生麦事件碑は1883年（明治16）12月に事件発生場所の土地所有者黒川宗三が，自由民権思想の啓蒙に貢献した中村正直に撰文を以来して建立したものである。生麦事件現場はこの碑より旧東海道を鶴見に向かった所である。生麦事件は井伊直弼の日米修好通称条約違勅調印によって，攘夷運動が高まる中で発生した。1862年（文久2）8月，薩摩藩主島津忠義の父久光が幕政改革の勅命を幕府に伝えるために勅使大原重徳を警護して江戸に行き，その帰途8月21日，午後2時頃この地を通りかかった際，イギリス人のリチャードソン，クラーク，マーシャル，ボラデール夫人が乗馬のまま行列を横切ろうとした。言葉が通じず，師事に従わなかった為，斬りつけられ，リチャードソンは絶命しその他の者は負傷し神奈川の本覚寺（アメリカ領事館）に逃げ込んだ事件である。この事件に対しイギリスは幕府に10万ポンド，薩摩藩に2万5000ポンドの賠償金と犯人逮捕を要求した。幕府は要求に応じたが薩摩藩は応ぜず，翌年7月に薩英戦争へと発展した。

薩英戦争；文久3年（1863）7月生麦事件責任追求のため鹿児島湾に進入したイギリス軍隊と薩摩藩の間で行われた戦闘。同年10月和議が成立、同藩は責任を認め、以後双方接近。

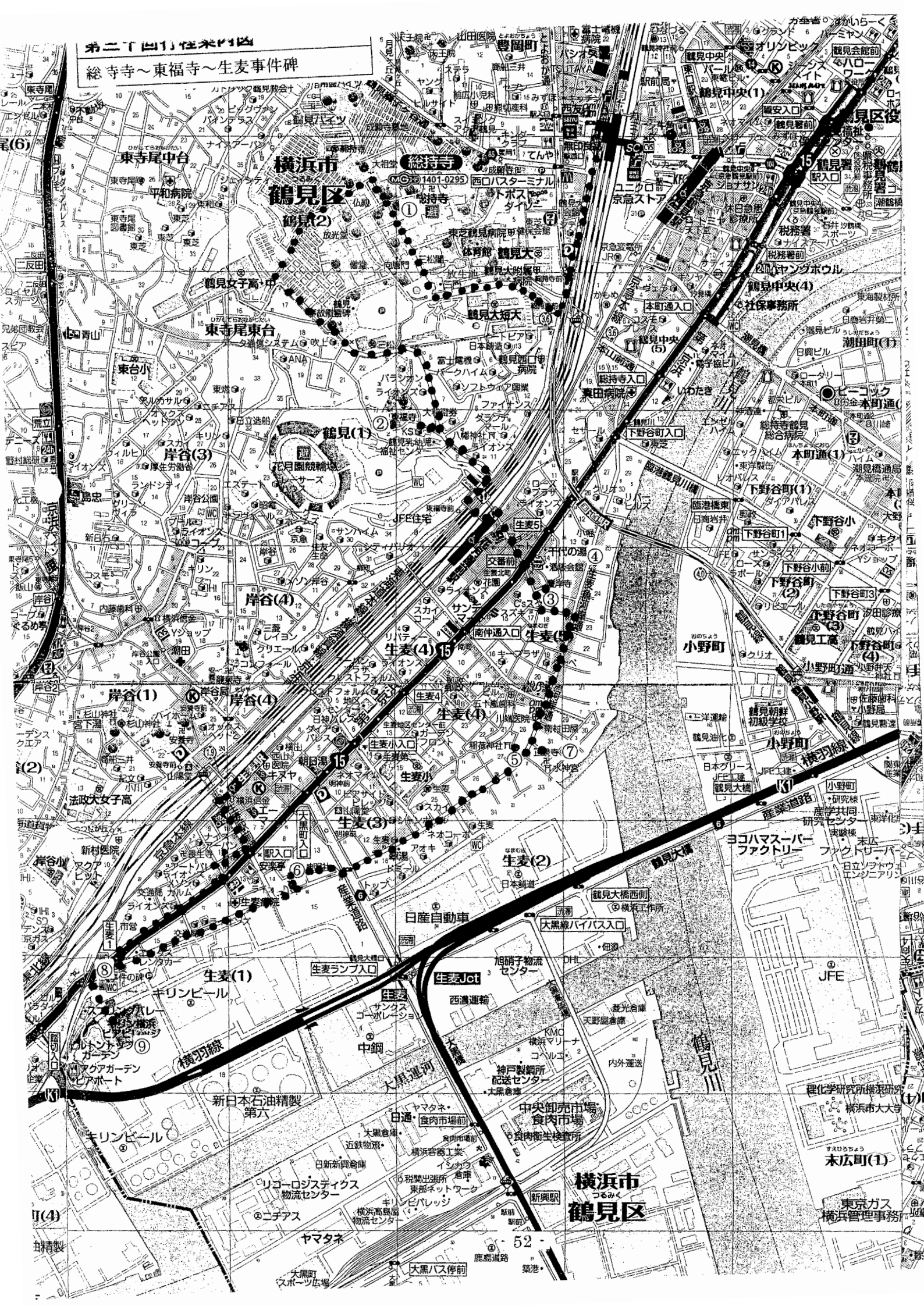
生麦事件参考館は、18年かけて集めた生麦事件に関する国内資料140余点を展示している施設資料館。隣に酒の博物館がある。

参考資料（横浜の歴史，横浜市教育委員会）

年代	事件	場所
1859年・安政6	ロシア人3名（2名死亡）	本町付近
同年	フランス領事の雇い人（中国人）1名	港崎町脇
1860年・万延元	オランダ人1名	本町
同年	アメリカ人1名	
1861年・文久元	イギリス仮公使館襲撃	江戸・東福寺
1862年・文久2	フランス人数名（1名死亡）	港崎町
同年	フランス人2名（重傷）	同所
1962年・元治元	イギリス人2名（死亡）	鎌倉八幡宮付近
1866年・慶応2	フランス人数名（1名死亡）	港崎町

9・麒麟横浜ビバレッジ（試飲ビール2杯つまみ付き・無料・団体要予約）

ビールの歴史，製造過程を見学し，試飲コーナーでは麒麟が発売している各種ビール，ジュースを試飲出来ます。



横浜市
鶴見区